

令和 2 年度 宮崎医療福祉専門学校 入学試験 (国語)

【 1 】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

言葉にするという行為は、簡単に見えて、実に難しい。

例えば、会議の内容をまとめ要約するには、話し合われていた内容の全体を理解している必要がある。話が進んでいった順に報告したとしても要約にならないし、結論だけを①端的に述べたところで、結論に至った経緯が分からない。

鑑賞した映画や読んだ書籍の内容を伝えたり、自分の身に起きたことを話す時でも同じである。

【 I 】

このような状況は、これから話そうとしている全体像を自分自身が完全に理解していないから起きてしまう。内容を完全に把握していれば、「つまり、どういうことなのか」を過不足なく要約できないはずはない。それと同様に、相手が聞きたいと思っていることも「つまり、どういうことなのか」であり、的な全体像でもなければ、具体的過ぎる詳細でもない。簡単に話すには、話そうとしていることについて深く知り、を把握していなければならないのだ。

では、②自分の意見を述べる際に、深く知っていなければならないものとは何だろうか。それは自分自身の気持ちであり、意見にほかならない。そのため、いざ自分の意見を語ろうとした時に、頭に浮かんだ言葉をその場で組み合わせながら話そうとしても、理解を得られないのは当然の結果とも言える。必要なのは、内なる言葉として現れる考えを深く知る以外にない。(内なる言葉とは、日常のコミュニケーションで用いる言葉とは別物であり、無意識のうちに頭に浮かぶ感情や、自分自身と会話をすることで考えを深めるために用いている言葉である。) 漠然と考えるだけで終わらせるのをやめる。そして、頭に浮かぶ断片に言葉という形を与え、組み合わせ、足りない文脈を加えるプロセスを行いたい。この繰り返しによってはじめて、内なる言葉は鮮明なものになり、地層が積みあがるように思考に厚みが生まれていく。【 II 】

だからと言って、最初から大きな効果や変化を求めてはならない。仮に意気込んで「何が何でも自分の思考を把握しよう」と力んだところで、長続きしなければ「こんなに努力したのに、できなかった」とし、せっかくのやる気が無になってしまう。

はじめから多くを求め過ぎず、あえて内なる言葉を意識するだけに留めておくことで、まず習慣をつくる。【 III 】

その訓練によって、自然と考える「クセ」を把握できるようになり、内なる言葉の語彙力を増やすステップへと進んでいけばいい。チリも積もれば山となる、ではないが、チリほどの効果や変化を積み上げることが唯一の方法である。

その結果、豊かな内なる言葉を持つことで、③外に向かう言葉が磨かれていく。それこそが、一生モノのコミュニケーション力である。【 IV 】

(梅田 悟司『言葉にできるは武器になる』による)

問 1 傍線部①「端的」のここでの意味として正しいものを次から選び、符号で答えなさい。

- ア くわしく イ てみじかに ウ しっかりと エ 細かく

問 2 には、「具体」の対義語が入る。漢字二字で答えなさい。

問 3 に入る語を本文中から 3 字で抜き出して答えなさい。

問 4 傍線部②「自分の意見を述べる際に、深く知っていなければならないものとは何だろうか。」とあるが、その答えとなる言葉を本文中から 13 字で抜き出して答えなさい。

問 5 に入る四字熟語として適切なものを次から選び、符号で答えなさい。

- ア 心機一転 イ 意気消沈 ウ 呉越同舟 エ 曲学阿世

問 6 傍線部③「外に向かう言葉」を言い替えた表現を本文中から 20 字以内で抜き出して答えなさい。

問 7 本文中に次の一文を入れるとしたら、どこに入れるのが良いか。本文中の I～IV より選び、符号で答えなさい。

「どこから話し始めればいいかが分からなかったり、端的に話せると思っていたにもかかわらず、話し始めてみるとダラダラとしてしまった、という経験は誰にでもあるだろう。」

問 8 本文の内容としてふさわしいものを次から一つ選び、符号で答えなさい。

- ア 相手に自分の意見を分かりやすく話すためには、話す詳細についてできる限り具体的に把握することが必要である。
- イ 相手に自分の意見を分かりやすく話すためには、内なる言葉として現れる自分の考えを深く知り、話す内容の全体像を把握することが必要である。
- ウ 相手に自分の意見を分かりやすく話すためには、相手が聞きたいことを把握し、それを言葉で表現したうえで足りない文脈を加えていくことが大切である。
- エ 「内なる言葉」を鮮明にするためには、第一に、コミュニケーションのための言葉を豊かにしていくことが必要である。

問4 ～に適する語をそれぞれ次から選び、符号で答えなさい。

ア そして イ だから ウ あるいは エ しかし

問5 に入れるのに適切な語を次のなかから選び、符号で答えなさい。

ア 潜在化 イ 孤立化 ウ 肥大化 エ 空洞化

問6 に入る言葉として適切なものを本文中から5字で抜き出して答えなさい。

問7 傍線②「そうした「豊かな」コミュニケーション」を具体的に示した一文を探し、初めの5文字を答えなさい。

問8 に適する言葉を本文中から9字で抜き出して答えなさい。

問9 筆者の主張として適当なものを次のなかから選び、符号で答えなさい。

ア 内的成長のためにはお互いの長所を認め合うことが必要であり、それは、新しいコミュニティを創造することで実現されるものである。

イ 内的成長のためには豊かなコミュニケーションが必要であり、それが可能となる新しいコミュニティの創造が今後の社会には必要である。

ウ 困ったときには物理的・精神的な面において助け合わなければならないため、日ごろから地域コミュニティを構築しておくべきである。

エ 私たちが「新たな生きる意味」を展開していくためには、悩みを受け止め解決してくれる仲間が必要なため、今後の社会にはそれが可能となるコミュニティを創造することが必要である。

【3】 次の会話文の ～ に入れるのにふさわしい語句を語群から選び、符号で答えなさい。

(1) 弘美：「他社では、コンピュータシステムの不具合により、顧客にダイレクトメールを重複して送付するというミスが続いているそうです。」

賢治：その失敗例は だ。我が社のシステムにも問題点がないか調査してみよう。

(2) 次郎：「将来、仕事が全部 AI（人工知能）に代わったらどうしようかと心配なんだ。」

花子：「それは だと思うよ。確かに、世の中では機械化が進んでいるけれど、人間にしかできない仕事はこれからも残っていくはずだよ。でも、私たち人間もこれからの時代に対応できるようなスキルを身に着けることが必要だろうね。」

(3) 次郎：「困ったな。昨日買ったメガネが見当たらない。」

賢治：「君の頭の上に掛けてあるよ。まさに だね。」

ア 囊中の錐	イ 杞憂	ウ けがの功名	エ 塞翁が馬
オ 灯台もと暗し	カ 焼け石に水	キ 他山の石	ク 伝家の家宝

【4】 次の意味をもつ語句を、語群から選んで答えなさい。

- ① 自我同一性。自分が自分であることに確信が持てること。
- ② 障がい者が一般の人々と平等の生活を送ることを趣旨とする考え方。
- ③ 患者が、病状・治療法などを十分に知らされたうえで、治療方法に同意すること。
- ④ すべての人に使いやすいように意図して作られた製品や環境。

ノーマライゼーション	ケアマネジャー	ユニバーサルデザイン	バリアフリー
アイデンティティ	インフォームドコンセント	バイオテクノロジー	

【5】 次の傍線部の表現について、適切な場合には○、適切でない場合には正しく書き改めなさい。

- ① 早くご回復して良かったですね。
- ② 食堂はどなたでもご利用になれます。
- ③ 資料を読まさせていただきました。
- ④ エレベーターにお乗りになられてください。

解 答

【1】 (3点×8)

- 問1 イ
- 問2 抽象
- 問3 全体像
- 問4 内なる言葉として現れる考え（13字）
- 問5 イ
- 問6 日常のコミュニケーションで用いる言葉（18字）
- 問7 I
- 問8 イ

【2】

- 問1 ㊶ たんきゅう ㊷ げきてき ㊸ とろ ㊹ いっちょういっせき (2点×4)
- 問2 ㊰ ア ㊱ ウ ㊲ イ ㊳ エ (2点×4)
- 問3 ワクワクすることや苦悩、違和感への感性（19字） (3点)
- 問4 A エ (3点×3)
B イ
C ア
- 問5 イ (3点)
- 問6 エネルギー (3点)
- 問7 人がワクワク (3点)
- 問8 コミュニケーション (3点)
- 問9 イ (3点)

【3】

- A キ (3点×3)
- B イ
- C オ

【4】

- ① アイデンティティ ② ノーマライゼーション (3点×4)
- ③ インフォームドコンセント ④ ユニバーサルデザイン

【5】

- ① 回復されて、回復なさって ② ○ (3点×4)
- ③ 読ませて ④ お乗りください。